

助成者	下田 寛典	活動期間	2021年4月～2024年3月 活動中
所属機関	合同会社 P L C	職 名	代表社員

交流を通じて自走するカンボジア・東ティモールの持続的な環境教育

【活動場所】 カンボジア シェムリアップ州オーサマキー小学校(OSS小学校)

【事業目的】 公立小中学校では、依然として基礎的な環境整備（教室・トイレ）に優先度が置かれ、環境NGO等が支援する環境教育が定着しづらかった。そうした中でも、学校菜園を環境教育活動として取り入れ、収穫物を加工・販売し、学校独自の収入創出に主体的に取り組む学校が現れ始めている。本事業では、環境教育に意欲的に取り組むカンボジアと東ティモール両国の学校教育の相互交流を行い、戦略的に学校運営に取り入れ持続可能な教育活動として自走するモデルを生むことを目的とする。



伝統医療師によるハーブのワークショップ

【活動内容】

- ①東ティモールの学校菜園の様子を、積極的に推進するリーダーや教員のインタビューを交えて映像化し、カンボジアの学校関係者へ伝える。
- ②カンボジアでは、映像視聴と菜園研修、菜園活動に必要な資機材により活動を推進
- ③カンボジアのモデル校と周辺学校との交流を映像化、東ティモールへその内容をフィードバックして東ティモール側の対象校から意見を聞く。

【活動状況】

1年目の2021年度は活動主体である両国の教育機関がコロナで休校になったことにより、進捗が遅れた。2年目はカンボジアを訪問し、対象校の教員向けに東ティモールの映像を元に交流し意見聴取、苗木づくりの研修、伝統医療師によるハーブのワークショップ実施。コロナで止まっていた学校菜園活動の再活性化に注力。事業者による学校菜園で作られたハーブの買取りも再開された。カンボジア側の菜園活動の映像化も終了し、東ティモール側で放映し視聴後のフィードバックを集めて、テーマとしていた「環境教育活動の自走」について纏める予定。



OSS小学校の菜園